

西建協だより

192号

2010年
7月



新体制に期待して

西多摩建設業協同組合 相談役 佐久間 一三

本年五月十九日の西多摩建設業協同組合の通常総会を以って、理事長を退任し相談役に就任いたしました。三期六年間におたり、皆様からご指導ご鞭撻をいただき、無事理事長の職務を全うさせていただきましたこと、組合員の皆様、関係者の皆様に感謝と御礼の誠を捧げます。

総会において、細沼新理事長が誕生し、平均年齢四十歳前後の新体制が発足いたしました。西多摩建設業協同組合は戦後もなくの時期に発足し、昨年で六十周年を迎えました。発足当時の組合員の年齢も今と同じ四十歳前後の若い力にあふれた組合でした。状況的にも、戦後の混乱期から将来に向けて力を発揮しようとする意気に燃えた時代でした。

理事就任のご挨拶

(株)島田組 取締役工事部長 島田昌典

先般の第四十四回通常総会におきまして理事に任命されました、島田昌典でございます。

私の祖父を始め、私どもの現社長並びに専務が理事を務めさせていただいた歴史ある西多摩建設業協同組合の、細沼新理事長による新体制の一員に加わる事となり、微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます所存でございますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

私も島田組は創業一〇五年でございます、小さな頃から建設業という商売を見ながら育ち、現在の建設業界を見て感じることは、なかなか厳しい時代だなあと言うことです。昔であれば道路が綺麗になったり下水が完備されれば、近隣住民の方々は大変喜んで下さり、施工者としても大きなやり甲斐を感じることが出来ました。しかし現在では工事と言えは迷惑なモノと言う感じで受け止められ、近隣住民の方

現在の社会情勢も変化の激しい時代であり、世界の変化が一瞬に日本の変化につながる時代になっていきます。

建設業界は、公共事業の削減、無駄の削減などといわれ続け、競争の時代に突入し、業界全体が疲弊しています。然しながら、建設業が仕事として成り立ってゆくには、社会資本、社会資産を整備する仕事である建設業の本来の立ち位置がどこにあるのか考えて見なければならぬと思います。

組合設立から六十年、若手の第三の世代がすすむ道は平坦な道ではありません。第二の組合創業ともいえる時代、誰も経験したことのない道ですが、これからの時代と社会を背負い、若い力と知恵

々に喜んでいただくには普通に施工しただけでは無理です。そんな中でより良い工事をするには、「安全は全てに優先する」という気持ちが一番重要だと私は考えています。建設業は無くなることはありません、社会の中で建設業が意味のある存在であるためにも、厳しい受注価格の中ではありますが、近隣住民の方々、通行する第三者の方々、そして現場に従事する作業員の方々の安全を第一に考え、より良い施工体制を作り上げることが重要だと考えます。安全にはお金がかかりませんが、現在の受注価格の中でそれを生み出すのは本当に厳しいです、さらに仮設や保安の設計変更はとて厳しいです、それでも私たちは創意工夫して生き残って行かなくてはなりません。そんな事を考えながら理事として働かせていただきますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

理事就任のご挨拶

(株)高丘組 代表取締役 高丘長武

この度、西多摩建設業協同組合第四十四回通常総会において、理事に選任されました(株)高丘組の高丘と申します。

理事という大役に大変驚いておりませんが、先輩方の功績に負けぬよう誠心誠意努めさせて頂きますので宜しくお願い申し上げます。

先般、新聞報道等で日本経済はゆるやかに回復傾向にあるとありましたが、私にはまだまだ暗い闇の中をさまよっているように思えてなりません。

建設業界は今、変革期を迎え本当に苦しい時期であり、そのような社会情勢に合わせた経営方針もまた大切だと思えます。しかし古き良きこの西多摩。地域に根ざし社会に貢献

を出して、懸命に努力しすむところに、前途洋々たる未来が開けるものと確信しています。組合による相互扶助、自己の成長など、西多摩建設業協同組合の晴れやかな発展を祈念し、細沼理事長はじめ役員皆様、組合員皆様の活躍を期待しております。

理事就任のご挨拶

(株)村尾重機 代表取締役 小高城司

西多摩建設業協同組合の会員の皆様こんにちは。

五月に行われました、第四十四回通常総会において理事に任命されました。(株)村尾重機小高城司です。今後ともよろしく申し上げます。

私になぜ理事に任命されたのか？正直戸惑っています。やるからには、全力でがんばっていきたくと思っています。まだ組合が何をするか・何をしたいのか私には正直いって分かりませんが、諸先輩方の意見等を参考にしながら理事としてがんばっていきたくと思っています。

今度の組合の新体制を見てみると、平均年齢四十歳前後の若いメンバーで構成されているので、若い

この西多摩地区は山間、丘陵と起伏に富む地形であるため、降雪、台風や近年多発するゲリラ豪雨等の自然災害に見舞われることも多く、除雪作業や排水作業等による地域保全、また緊急災害発生時にむけた啓開作業などを通じ、地元地域に貢献できるのではないかと考えます。

また、地域イベントへの積極的な参加等、地域交流を積極的に行い、「地元の仕事は地元でやるのが一番」。そのように地域の皆様に親しまれ、幅広く認知されるよう努力するのをもまた公共事業

力です。新しい斬新的な組合活動が出来ると思っています。今の土木・建設業は若い技術者が非常に少ないのが現状です。何故なら仕事の量も少なく仕事を確保するため、低価格での受注・ダンピングが多いので、若い技術者を育てることが出来ないのではと私は感じています。

組合員の皆様は素晴らしい技術・経験・知識を持っている会社だと感じています。その技術・経験・知識を若い人達にたくさん伝えられるような組合にしていきたくと思っています。私自身若輩者ですが、理事として頑張っていきますので、よろしく申し上げます。

死を招く『熱中症』を防げ

平成22・23年度 組織図 (委員会名簿)

担当副理事長 岩浪岳史	担当副理事長 酒井政修	担当副理事長 榎森厚志	若手経営者の会
委員会 委員会			代表幹事 宮崎一二三
総務委員会	事業委員会	広報委員会	副代表幹事 武田雅由
委員長 上坂健一	委員長 古屋英司	委員長 戸高弘喜	会計幹事 熊谷拓治
副委員長 武田雅由	副委員長 宮崎一二三	副委員長 高丘長武	幹事
委員	事業部会 委員	技術安全部会 委員	土屋保明 土屋建設(株)
柴田拓也 (理事)	熊谷拓治 熊谷建設(株)	清水 誠 清水土木建設(株)	戸高弘喜 戸高建設(株)
市川 徹 奥多摩建設工業(株)	土屋保明 土屋建設(株)	田村 聖 (株)田村工務店	柴田拓也 朝日建設(株)
大館貴之 大館建設工業(株)	高木直哉 高木建設(株)	秋葉貴晴 昭和建設(株)	小高城司 (株)村尾重機
小池啓太 小池建設(株)			馬場英明 (株)馬場組
			土屋龍生 (株)土屋土建
			監事 岡野恵之
			監事 清水 誠

に携わる者の努めであると思えます。最後に若さあふれる細沼新体制の下、不撓不屈の精神で邁進してまいりますので、よろしくお願いたします。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◇ 日建学院認定校青梅校からの案内 ◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』

『二級建築施工管理技士』の受験対策講座を2階・3階会議室で実施を致します。この講座は『西多摩建設業協同組合』が『日建学院認定校』として運営し、開講いたします。会員企業の皆様の利便を図り実施いたします。

今年度受験予定の方々にご案内いたします。

2級建築施工

受験申込期間 7月2日～7月16日 (金)

受験願書配布 6月18日 (金)～

試験日 11月7日です。

2級建築施工管理技士・対策講座 スタート9月7日 (火)

講義日時 毎週3回 日・火・木曜日

日 9時～13時

火・木 18時30分～20時

講義内容 基礎講義6回、本講義21回

公開模擬試験1回

尚、講座日程、受講料、申込等詳細の問合せは、組合事務局まで。☎0428-22-6245

連絡先 青梅校 (西建協事務局)

0428-22-6245 : 石川

日建学院立川校

042-527-3291 担当: 澤田

賛助会員 PR コーナー No.21回

「安心」のための「安全」を創る、それが私たちの使命

おかげさまで 創立50周年

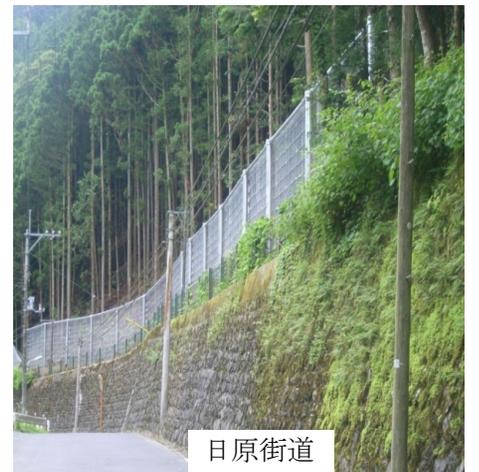
平素より、西多摩建設業協同組合の皆様方には格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

奥多摩地区の初実績を頂いてから十数年をかぞえ、皆様の生活に欠かせない道路保全や急傾斜地対策に取り組んで参りました。

これも偏に皆様のご支援ご厚情の賜物、感謝いたしております。

今後も工事の安全第一を優先に、

お客様のニーズに応えられるよう努力してまいります。



株式会社 明商

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町13

本社: 03-3269-8561

奥多摩: 0428-78-2083

6 月 事 業 報 告

- 7日 正副理事長 西建所長への挨拶
- 10日 広報委員会 191号編集発行
- 14日 あきる野地区委員会
- 15日 西多摩分会 安全週間説明会 午後2時～定期総会
会場: 羽村市生涯学習センター 2階会議室
- 16日 正副理事長会 理事会
- 17日 三多摩建設業連合会 総会 (八王子市内)

7 月 事 業 計 画

- 8日 あきる野地区委員会
- 9日 事業委員会
- 9日 広報委員会 192号編集発行
- 20日 総務委員会
- 22日 正副理事長会 理事会

熱中症を防ごう！ 今年の夏は高温多湿

人間は、体内で発生した熱や環境から受けた熱によって体温が上昇しますが、汗をかき、これが蒸発することなどにより体内の熱を放出し、常に適切な体温を維持する機能が備わっています。ところが高温多湿の環境下で激しい運動をすると、体内の熱の放出が十分できず、体温調節機構が崩れ、体の深部体温が上昇してさまざまな症状が現れます。

主な症状としては、下腿、大腿、腹壁などの筋肉が痙攣を起こす、疲労感とともに強い頭痛、悪心・嘔吐、めまいなどの症状が出るとされています。最も重い状態になると、体温が40度を超え、発汗が停止して意識障害が出現し、適切な処置をしないと死亡するケースも多くあります。

予防措置とともに、先の症状が出た場合の緊急措置などについても安全衛生教育を実施し、まさかという時に備えましょう。

◎予防対策 (一例を掲載)

- ・作業場所にスポーツドリンクを備え付けるなど水分や塩分を容易に補給できるようにすること。
- ・熱を吸収、保有しやすい服装は避け、吸湿性、通気性のよい服装にすること。

尚、『青梅監督署だより』7月号のホームページを皆様、ご覧下さい。

青梅監督署だより

検索 クリック!

建災防 西多摩分会

《6月19日 (水) 理事会報告》

①報告事項

- ・若手経営者の会総会 役員改選
- ・西多摩分会定期総会 役員改選
- ・三多摩建設業連合会定期総会 役員改選
- ・西建への挨拶
- ・太陽光発電住宅セミナー
- ・朝日建設(株) 代表者変更届 (代表取締役: 柴田拓也)

②審議事項

- ・第44回通常総会懇親会会計報告 出席者75名
- ・三多摩建設業連合会役員選出の件
- ・退任役員記念品支給の件
- ・建通新聞社 暑中広告掲載の件
- ・青梅市花火協賛の件
- ・22・23年度委員会、委員選出の件
- ・その他

写真が語る西多摩(今昔)

第15回 (最終回)

◇秋留橋の周辺 (あきる野市)

秋川左岸、広がる水田地帯の遠望 (大正12年頃)

現在は圏央道あきる野インタ (撮影ポイントは下流より)



